

庭木を楽しむために、樹木の生長や大きさをコントロールする剪定が大切です。

日々の生活に豊かな彩りを添えてくれる樹木ですが、大きくなりすぎてまわりに迷惑がかかったり、のびすぎて樹形を乱し見た目が悪くなった場合、庭の広さに応じた大きさや形にまとめる必要があります。今回は不要な枝の剪定や形を整える剪定の基本を紹介します。



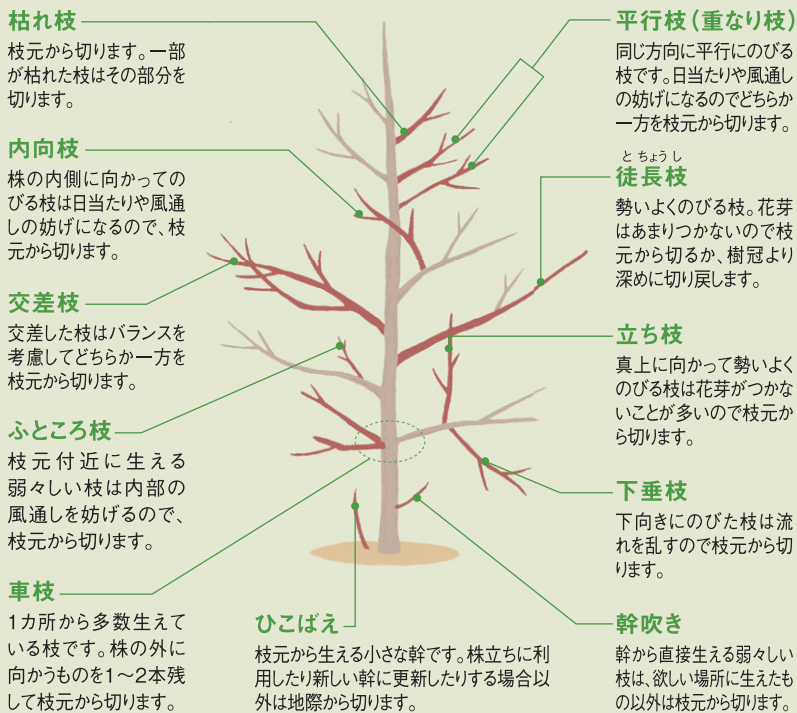
[監修] 西本敬子
1級造園技能士・樹木医

03 基本の剪定

樹形を乱し生長を妨げる不要枝を優先的に整理していきます。

樹種	基本剪定時期	軽剪定時期
常緑樹	初夏(新芽が出たあと)	晩秋
落葉樹	晩秋(落葉後)～初冬	初夏
針葉樹	冬	晩秋

※花木は花が咲き終わった直後に剪定することが望ましいです。

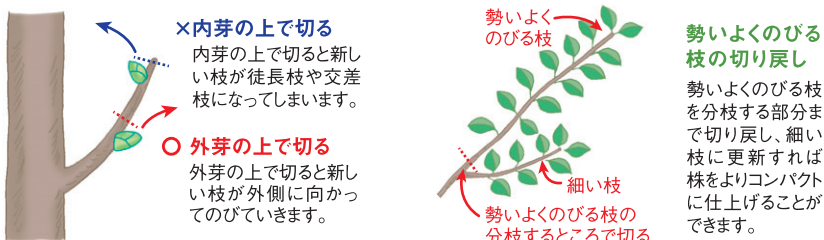


剪定の手順

最初に太い枝から切りはじめ、全体の樹形をイメージしてから細い枝に移り形を整えます。上から下に向かって切っていけば枝葉を落としながら剪定することができます。

【枝の切り方】

代表的な切り方として長い枝を途中で切る「切り戻し剪定」と、不要な枝を枝元から切る「間引き剪定」があります。このふたつの剪定を使い分けながら樹木の形を整えていきます。



01 剪定の目的

- ① 木陰をつくる、外から見えにくくする、美しい景観をつくる等、樹木が植えられた目的の効果を高める。
- ② 近隣の家や敷地に迷惑がかからないよう、大きさを抑える。
- ③ 樹木の風通しをよくして、病虫害の軽減をはかる。

02 仕上がりをイメージする

仕立てには樹木本来の形を活かした自然なものや、人工的に形づくるものなどがあります。大切なのは樹種の特徴や目的、庭のスペースを考慮したうえで完成形をしっかりとイメージしておくことです。

仕立ての代表的なタイプ

今回は、こちらのタイプの樹木の剪定を紹介しています。



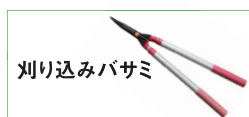
04 基本の剪定に必要な道具



種類にもよりますが直径2cmくらいまでの枝を切ることができます。最もよく使う道具ですので自分の手に合うものを選びましょう。



剪定バサミで切れない太い枝に使用します。刃の長さは30cmくらいが一般的。木工用ではなく扱いやすい剪定用を使いましょう。



刈り込みに使用します。柄の部分がのびるタイプのものは、手の届かない高い位置の枝も切ることができます。



高いところの枝を切る時に使用します。安定した平らな場所で使用し、いちばん上の段には足を掛けないように注意しましょう。



トゲなどから手を保護します。手のひらや指先にビニールコーティングしてあるものがおすすです。

05 ハサミとノコギリの使い方

ハサミの使い方

受け刃で枝を固定して切ります。太い枝を切る時は根元に近い位置を使います。

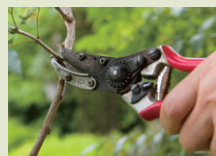
剪定バサミの使い方

受け刃(刃の細い方)で枝を固定し、切り刃(刃の太い方)を押し下げて切断します。



枝の太さと切る位置

主に刃先に近い部分を使いますが、枝が太い場合は根元に近い部分を使うとそれほど強い力をかけずに切ることができます。



ノコギリの使い方

力まず握って手前に引きながら切ります。太い枝は切り込みを入れてから。

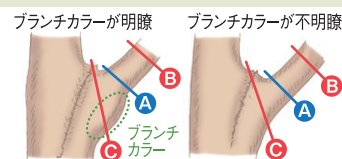
通常の使い方

押す時は軽く浮かせ気味にし、手前に引いた時に切ります。



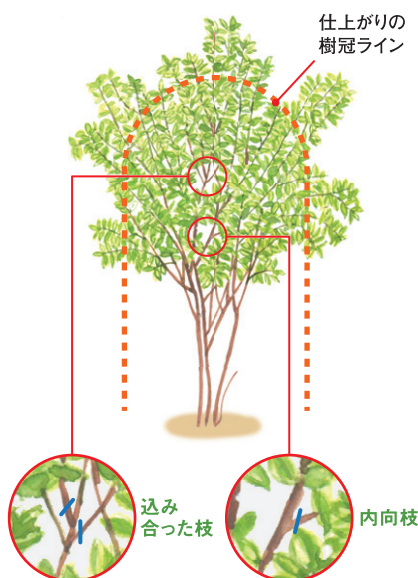
枝の正しい剪定位置

枝と幹を繋ぐ太い部分(ブランチカラー)を残すように、枝の生える方向に対して垂直に切断しますので、右の2つの図ではAの位置が正しいです。BやCの位置で切断すると、腐朽(ふきゅう)が進展してしまうことになります。



06 代表的な庭木の剪定方法

シマトネリコ



●不要な枝を切り落とす

込み合った枝や内向枝、交差枝などを切り落としてすっきりさせます。

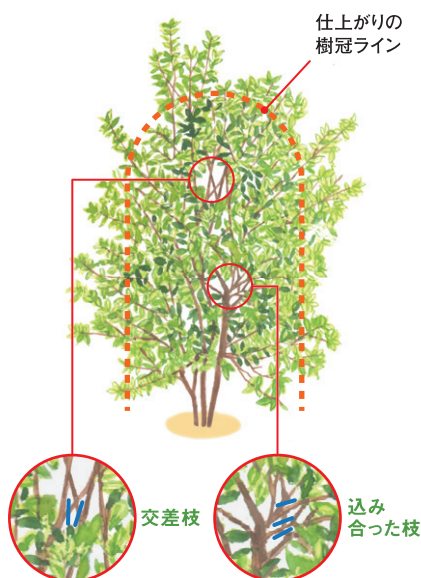
●形を整える

外側の枝や樹冠にかかわる枝を切って全体のバランスを整えます。大きくなりやすい品種なので、高さをキープしたい場合やコンパクトにまとめた場合は主幹を節(枝分かれしている部分)のすぐ上で切ります。

ポイント

- 思い切って枝数を減らすと爽やかなイメージに。
- 縦芽を残して切り落とすと美しい樹形に生長。
- 高さをキープしたい場合は年2回を目安に剪定。
- 細かく枝を切りすぎるとかえって^{ほうが}萌芽を促します。できるだけ大きな枝を落とす剪定を。
- 骨格を作り直す場合は春に剪定を。

ソヨゴ



●不要な枝を切り落とす

込み合った枝や内向枝、交差枝などを切り落として日当たりや風通しをよくします。

●形を整える

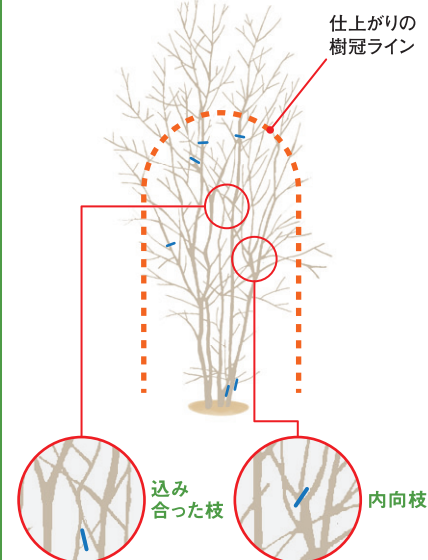
外側の枝や樹冠にかかわる枝を切って全体のバランスを整えます。高さをキープしたい場合は主幹を節上で切ります。

ポイント

- 放置しておいてもあまり樹形が乱れないので、不要な枝の整理や大きさをまとめるだけの剪定でも大丈夫。
- 株立ちの場合、葉を透かせて幹を見せると美しく仕上がります。

ジュンベリー

※オリーブもこの方法を参考に剪定してください。



●不要な枝を切り落とす

込み合った枝や内向枝、交差枝などを切り落としてすっきりさせます。根元付近の枝は基本的に不要なので整理します。

●形を整える

枝先や樹冠にかかわる枝を切って全体のバランスを整えます。高さをキープしたい場合は主幹を節上で切ります。

ポイント

- ひこばえが生えやすい品種なので4〜5株をめどに地際から切ります。
- 落葉樹は枝ぶりがよくわかる落葉時期の剪定がおすすめ。新芽が出終わった初夏も剪定時期。